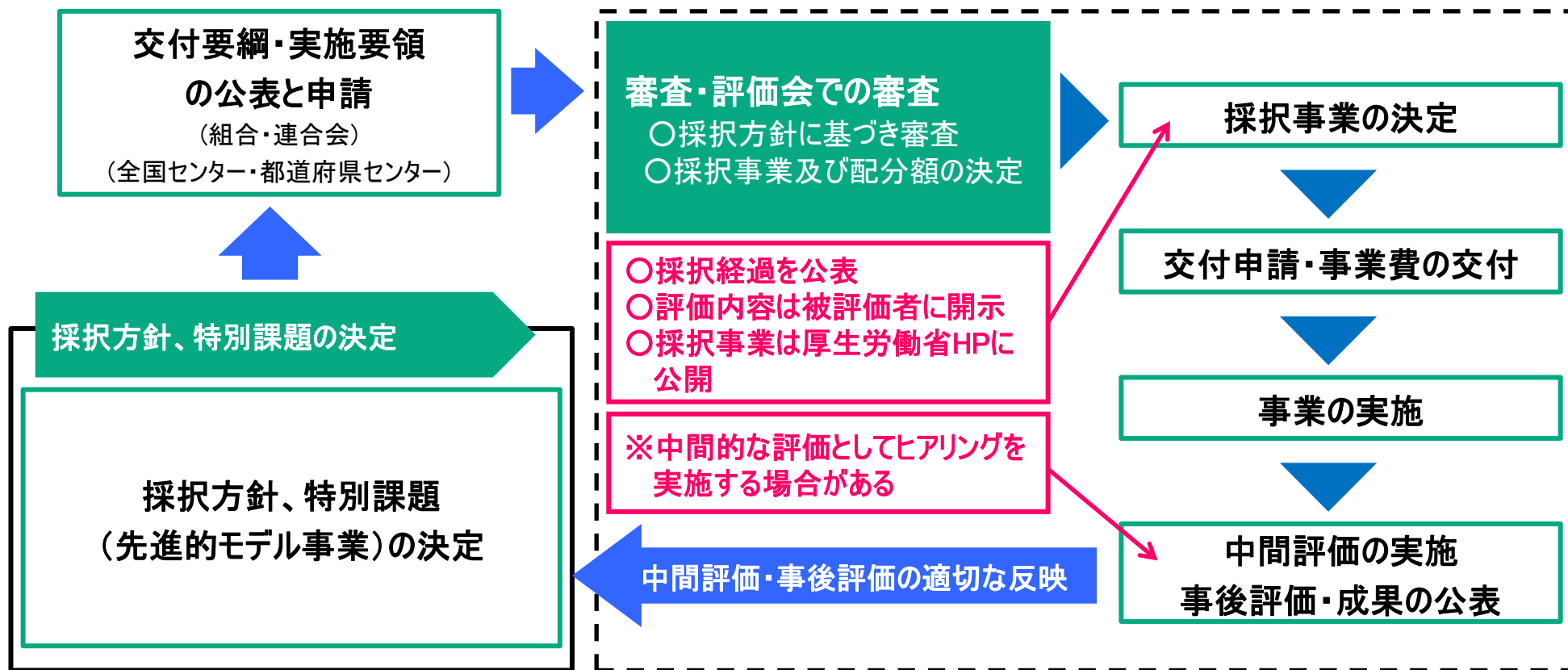


生活衛生関係対策事業費補助金の 審査・評価の仕組み

1. 基本的考え方

- ✓ 申請された事業は、審査・評価会で関係営業の振興・公衆衛生の確保と的確な効果測定の観点から評価
- ✓ 審査・評価会名簿、採択事業、採択額、成果物等は厚生労働省HPにおいて公開

2. 審査・評価に関するフロー図



平成25年度生活衛生関係対策事業費補助金の採択方針

狙い	内容
効果測定が可能な事業の実施	<ul style="list-style-type: none">○成果指標、活動指標を明確にした事業の実施<ul style="list-style-type: none">✓ 審査・評価会で審査、採択、評価✓ 関係者が新しい仕組みに不慣れで混乱・当惑することがないように、丁寧な説明を前提に、改革を段階的に進める○主な事業について、期待される効果を簡潔に整理（生活衛生関係対策事業費補助金の意義について適切に広報）
戦略性の強化	<ul style="list-style-type: none">○各関係営業の課題に即した事業の実施<ul style="list-style-type: none">✓ 審査・評価会でまとめる生活衛生関係営業の課題に即した先進的モデル事業(特別課題への対応)✓ 各地域、営業者の実情に即した各団体提案型事業(成果目標の明確化を前提)○事業年度の間で審査・評価会と関係団体との間で意見交換 →計画の実施状況や成果等を確認し、事業目的が達成されるよう適切に助言○先進的モデル事業(特別課題)の実施は複数の都道府県組合からの手上げ方式、連合会が実施する方式が考えられる。全国センター等のシンクタンクの支援(委託)を受けた実施も考えられる。
組合活動の活性化	<ul style="list-style-type: none">○組合等の役割・魅力の明確化<ul style="list-style-type: none">✓ 補助金による事業内容に組合員を対象とする税制、融資等の内容を加え、その意義を説明することで組合への加入促進等につなげる

平成25年度先進的モデル事業（特別課題）のねらい

- ✓ 生活衛生関係営業（生衛業）の課題解決に重要と考えられる事業の方向性を予算執行前に示すことにより、生活衛生関係営業対策事業費補助金の重点化を誘導
- ✓ 平成23年度予算執行プロセスにおいて初めて実施
 - ・ メリハリのある質の高い予算執行を実現
 - ・ 審査・評価会のフォローアップにより、PDCAサイクルを確立
- ✓ 平成25年度予算執行プロセスにおいても、先進的モデル事業（特別課題）を重要な政策誘導ツールの一つとして位置付けて、生活衛生関係営業対策事業費補助金の重点化を図る

平成25年度生活衛生関係営業対策事業費補助金事業の体系

生活衛生関係営業対策事業費補助金

団体提案型事業

連合会・組合の自由な提案

営業施設の衛生水準の維持・向上、経営の健全化を通じて、国民の衛生水準の向上を図るために行う独創的な事業

業種、地域の特性に応じて提案される生活衛生関係営業の振興を図るための事業

先進的モデル事業 (特別課題)

政策課題対応型事業

重点的に取り組むべき分野や社会的要請の強い分野を特定して機動的かつ効果的に事業の推進を図る

個別課題分野

(各関係営業が直面する課題の解決に資することを目的とする事業)

▶ 平成25年度19課題

共通課題分野

(各関係営業が共通で直面する課題の解決に資することを目的とする事業)

▶ 平成25年度12課題